

**基本理念**

- 1 子どもの最善の利益を考えるとともに、子ども自らの「育つ力」を大切にします。
- 2 父親・母親を中心とした、家庭の「育てる力」を大切にします。
- 3 子育ての負担を家庭だけに負わせることなく、地域や職場が子どもと子育て家庭を応援します。
- 4 行政は、地域や職場と連携しながら、子どもと子育て家庭を応援します。

**計画目標**

### 子育て、子育てをみんなが応援するまち ねりま

練馬区では、父親・母親その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本認識の下に、地域社会全体で家庭の「育てる力」と子ども自らの「育つ力」を応援することによって、安心して子育てができるまち、そして、子どもが未来に希望を持ち、次代を担う力を身につけることのできるまちの実現をめざします。

**基本目標**

- 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します
- 子どもと親の健康づくりを応援します
- 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します
- 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます
- 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援します

網掛け項目は、目標達成事業(11事業)です。

<b>基本目標</b>	子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します					
<b>基本施策</b>	1 子育て支援についての情報提供、相談機能の充実					
<b>計画事業名</b>	<b>目標指標</b>	<b>平成21年度末 実施状況</b>	<b>平成23年度末 実施状況</b>	<b>平成26年度末 目標値</b>	<b>平成23年度の取り組み、特記事項</b>	<b>基本施策のまとめ</b>
- 1 - 2 子ども家庭支援センターの整備	施設数	4 か所	5 か所	先駆型センター 1 か所 従来型センター 4 か所	- 1 - 2 「子ども家庭支援センターの整備」 分室の機能、レイアウトの検討	平成22年度に大泉子ども家庭支援センターを開設し目標達成。(仮称)練馬駅北口分室では、子ども家庭の総合相談、一時預かり事業等を実施する予定。すくすくナビゲーター事業は、引き続き子育て支援情報冊子の発行などに取り組んでいく。
- 1 - 4 (仮称)すくすくナビゲーター事業の実施	育成・配置	-	事業見直し	(育成・配置) 24か所	◆ - 1 - 4 「(仮称)すくすくナビゲーター事業の実施」 平成24年度発行する予定の子育て支援情報冊子の検討、協働作成事業者の選定	

基本施策		2 子育て家庭の交流の促進				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 2 - 1 子育てのひろば	施設数	びよびよ 5か所  にこにこ 63か所  放課後児童等の広場 (民間学童保育)事業 3か所  民設子育てのひろばへ の支援 8か所	びよびよ 7か所  にこにこ 69か所  放課後児童等の広場 (民間学童保育)事業 2か所  10か所	11か所  63か所  3か所  13か所	◆ - 2 - 1「子育てのひろば」 北大泉児童館内の学童クラブが移転した跡に 北大泉びよびよ(平成24年4月から北大泉児童 館びよびよに名称変更)を開設。 民設子育てのひろばを運営する団体を公募 し、1団体を選定。高野台に10か所目の民設ひ ろばを開設。 また、一部の「にこにこ」実施施設では、昼 食の時間帯にも利用できるように、利用時間 を変更した。	びよびよは、今後も児童館内の学童ク ラブが移転した跡などを活用して設置し ていく。 講座については、今後も継続して実施 する。
- 2 - 4 子育て支援啓発講座 の実施	ノーバディーズ パーフェクト・ 子育て支援啓発 講座の実施	ノーバディーズパー フェクト定員12名程 度×6回講座×3会場  子育て支援啓発講座の 実施	定員12名程度× 6回講座×4会場  講座の実施	定員12名程度×6回 講座×4会場  講座の実施	◆ - 2 - 4「子育て支援啓発講座の実施」 ノーバディーズパーフェクト講座の実施(定 員12名×6回講座×4会場)	

基本施策						
3 子育て家庭を地域で支える仕組みづくり						
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
-3-2 児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築	ネットワーク構築児童館数	5館	13館	17館	-3-2「児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築」 平成22年度に進捗状況管理検討会を設置し、以後年に1回全児童館にアンケートを実施し、進捗状況を管理している。	児童館（全17館）が共通のネットワークの構想イメージを持ち、取り組みの最低基準を定め、たうえで更なる充実を図っていく。 ファミリーサポート事業は、今後も区民が助け合いの精神で、身近な地域で主体的に育児援助活動を行うことを支援する。
-3-3 ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業	援助依頼受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	3か所(区全体)  保育サービス講習会年間4回	練馬区ファミリーサポートセンター1か所に統合  保育サービス講習会年間4回	援助依頼受付体制の充実 援助会員の増員・育成  保育サービス講習会の充実	◆ -3-3「ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業」 区内3か所のファミリーサポートセンターを、練馬子ども家庭支援センターの分室に統合し、業務を特定非営利活動法人に委託。（保育サービス講習会の実施含む）	

基本施策		4 保育サービスの充実				平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値			
- 4 - 1 保育所待機児童の解消	定員数	9,644人	10,483人	11,451人	<p>- 4 - 1「保育所待機児童の解消」 私立認可保育所4園を開設した。 (平成23年4月アスク豊玉中保育園、平成23年4月にじいる保育園練馬中村、平成23年4月にじいる保育園大泉学園、平成23年4月アンジェリカ桜台保育園) 認証保育所2園を開設した。 (平成23年4月まちの保育園小竹向原、平成23年8月ピノキオ幼児舎関町園) 家庭福祉員を新規に認定した。 (平成23年4月3人)</p>	<p>保育所待機児童の解消に向け、平成23年度は私立保育所4園、認証保育所2か所の開設等により定員枠の拡大を図り、計画の推進に努めている。しかし、保育所入所申込者数は増加を続けており、今後も引き続き計画を推進していく必要がある。 短期特例保育は、私立保育所3園、認証保育所5か所において事業を開始した。緊急時における短期特例保育事業の需要が高いことから、今後も、新設の私立保育所、認証保育所等を実施を要請していく。 乳幼児一時預かりについては、(仮称)練馬駅北口分室において実施する予定である。現在ある分室の機能と合わせて調整していく。</p>	
	認可保育所	83園 8,253人	89園 8,818人	99園 9,631人			
	認証保育所	27か所 798人	32か所 998人	40か所 1,158人			
	家庭福祉員	福祉員41人、120人	福祉員50人、147人	福祉員46人、132人			
	駅型グループ保育室	8室 66人	8室、75人	8室 75人			
	保育室	8室 152人	7室、140人				
	幼稚園預かり保育	6園 155人	5園、130人	5園 130人			
認定こども園	2園 100人	3園、145人 【練馬型グループ保育室】 3室、30人	7園 325人				
- 4 - 2 乳幼児一時預かり事業	施設数	4か所	5か所	5か所	<p>- 4 - 2「乳幼児一時預かり事業」 5か所、48人定員で実施</p>		
	定員数	36人	48人	46人			
- 4 - 5 短期特例保育	放課後児童等の広場(民間学童保育)事業	2か所	放課後児童等の広場(民間学童保育)事業 2か所	2か所	<p>- 4 - 5「短期特例保育」 私立保育所3園において事業を開始した。 (平成23年4月アスク石神井まち保育園、アスク豊玉中保育園、アンジェリカ桜台保育園) 認証保育所5か所において事業を開始した。 (平成23年4月保育所まあむ中村橋駅前園、キッズパオ石神井あおぞら園、ベビーステーション石神井公園、まちの保育園小竹向原 ) (平成23年8月ピノキオ幼児舎関町園)</p>		
	保育員数	9人	8人	14人			
	定員数	27人	24人	42人			
	<入所定員の空き利用>	保育所65園	保育所69園	81園			
	施設数	認証保育所13か所	認証保育所20か所	30か所			
	保育室8室	保育室等7室					

基本施策		4 保育サービスの充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 4 - 6 一時預かり	施設数 定員数	区・私立保育所 6園 45人	区・私立保育所 8園 61人	13園 84人	- 4 - 6「一時預かり」 私立保育所1園で事業を開始した。 (平成23年10月アスク豊玉中保育園)	「延長保育」実施園の拡大等、各事業とも目標達成に向けて計画通り進んでいる。
- 4 - 7 病児・病後児保育	施設数 定員数	病後児保育 4か所 22人	病後児保育 2か所 6人 病児保育 2か所 16人	病後児保育 2か所 6人 病児保育 3か所 20人	- 4 - 7「病児・病後児保育」 平成23年度に、既設の病後児保育施設2か所で病児保育事業を開始した。 新規の病児保育施設を開設するために医師会と協議を行った。	
- 4 - 8 延長保育	施設数	区・私立保育所 計40園 朝30分 6園 夕1時間 31園 夕1時間30分 1園 夕2時間 7園 夕2時間30分 1園	区・私立保育所 計56園 朝30分 16園 夕1時間 29園 夕1時間30分 1園 夕2時間 10園 夕2時間30分 0園	計55園 朝12園  夕55園	- 4 - 8「延長保育」 区立保育所1園で延長保育を開始した。 私立保育所4園で夕方2時間、3園で朝30分の延長保育を開始した。	
- 4 - 9 認定こども園	施設数 定員数	2園 100人	3園 145人	7園 325人	- 4 - 9「認定こども園」 平成23年度、1園を開設した。 (石神井南幼稚園)	
基本施策		5 児童館、地区区民館、厚生文化会館、学童クラブ事業等の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 5 - 6 中高生の居場所づくり	実施児童館数	2館	4館	10か所	- 5 - 6「中高生の居場所づくり」 平成23年4月から平和台児童館・南田中児童館で新たに実施。 平成24年度からの新たな実施館2館を選定した。 週2回の実施日をより利用が見込まれる曜日に変更した。	今後も長期計画に基づき、年2館ずつ実施館を増やしていく。

基本施策		6 その他の居場所、遊び場、多様な体験機会の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 6 - 9 学校応援団推進事業	施設数	小学校57校	小学校65校	65校	- 6 - 9「学校応援団推進事業」 平成22年度に全小学校に設置した学校応援団が、全て「ひろば事業」を開始した。	各事業とも計画通り順調に進んでいる。 学校応援団推進事業は、平成22年度末で目標値を達成した。 練馬区における「放課後こどもプラン」は、今後も学童クラブ事業とひろば事業の連携が円滑に進むように、それぞれの学校にあったサポートをしていく。 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業は、乳幼児を対象とした企画や障害のある子を対象とした企画も増えてきており、今後も区民のニーズに合わせた講座を実施する。 外遊び場の提供は、今後も外遊びの場の提供が継続できるように、団体と協働して取り組んでいく。
- 6 - 14 練馬区における「放課後子どもプラン」	学校応援団の設置  学童クラブ事業とひろば事業の連携  校内学童クラブ設置	57校  学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 33校  学童クラブ設置数(近隣設置校含む)42校	65校  学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施 58校  学童クラブ設置数(近隣設置校含む)45校	65校  学童クラブ事業とひろば事業の全小学校での連携  学童クラブの構内移設・整備	◆ - 6 - 14「練馬区における「放課後子どもプラン」」 学童クラブ事業とひろば事業の連携実施校の拡充と併せて、児童館とひろば事業の連携の実施。 大泉学園小学学童クラブ室の建設工事を行い、平成24年4月に開設した。	
- 6 - 15 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業	講座数	小中学生および親子対象講座 435講座  障害のある子どものための連続講座 6講座  中学生対象連続講座 -	小中学生および親子対象講座 447講座  障害のある子どものための連続講座 8講座  中学生対象連続講座 は、情報教育推進事業で実施した(1講座)。	小中学生および親子対象講座 390講座  障害のある子どものための連続講座 5講座  中学生対象連続講座 5講座	- 6 - 15「ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業」 区内公共施設等で447回の講座が実施され、15,407人の参加があった	
- 6 - 16 外遊びの場の提供	事業実施	外遊びの場提供事業案検討 活動団体調査	補助実施	外遊びの場提供事業の実施	◆ - 6 - 16「外遊びの場の提供」 平成22年度選定した団体に補助を行い、区内7か所で事業を実施した。	

<b>基本施策</b> 7 子ども自らが考え、参画する機会の拡充						
<b>計画事業名</b>	<b>目標指標</b>	<b>平成21年度末 実施状況</b>	<b>平成23年度末 実施状況</b>	<b>平成26年度末 目標値</b>	<b>平成23年度の取り組み、特記事項</b>	<b>基本施策のまとめ</b>
- 7 - 4 ねりま遊遊スクール (子どもによる講座 づくり)事業	講座数	13講座	12講座	48講座	- 7 - 4 「ねりま遊遊スクール(子どもによる 講座づくり)事業」 平成23年7月～平成24年3月の間に区立中学 校等で延12回の講座が実施され、407人の参加 があった。	今後も子どもたちが主体的に考え、参 画できる場の提供を進める。
<b>基本施策</b> 8 経済的な支援						
【計画事業なし】						
<b>基本施策</b> 9 誰もが働きやすい就業環境の促進						
<b>計画事業名</b>	<b>目標指標</b>	<b>平成21年度末 実施状況</b>	<b>平成23年度末 実施状況</b>	<b>平成26年度末 目標値</b>	<b>平成23年度の取り組み、特記事項</b>	<b>基本施策のまとめ</b>
- 9 - 9 男女共同参画計画に 基づく施策の推進	施策の推進	次期練馬区男女共同参 画計画の策定に向けて の提言 女性の労働実態調査の 実施	ワーク・ライフ・バラ ンスの普及啓発のた め、企業・事業所の雇 用主および人事労務担 当者等を対象にセミ ナーを開催	施策の推進	- 9 - 9 「男女共同参画計画に基づく施策の 推進」 企業・事業所向けセミナー 「ワークライフバ ランスによる職場づくり」を初めて開催した。 日時：平成24年3月21日(水) 会場：職員研修所 参加人数：33人 講師：大西綾子他2名 多様な働き方セミナー & パソコン講座 会場： 男女共同参画センター 参加人数：108人	第3次練馬区男女共同参画計画に沿っ て、ワーク・ライフ・バランスを推進す る。 今後、区民向けと企業・事業所向けに 実施予定。

基本目標	子どもと親の健康づくりを応援します					
基本施策	1 健康診査等の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 1 - 3 幼児歯科健康診査	1歳6か月児歯科 健康診査受診率	84.8%	84.0%	90%	<p>- 1 - 3 「幼児歯科健康診査」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：保健相談所</li> <li>・1歳6か月児歯科健康診査 対象者数：6,470人 受診者数：5,434人</li> <li>・2歳児歯科健康診査 対象者数：6,250人 受診者数：4,854人</li> <li>・2歳6か月児歯科健康診査 対象者数：6,634人 受診者数：2,165人</li> <li>・3歳児歯科健康診査 対象者数：6,391人 受診者数：5,656人</li> </ul>	<p>歯科健診においては、受診率の維持・向上のために未受診者に受診勧奨等を行っている。</p> <p>その結果、各歯科健診とも計画に沿って順調に進んでおり、2歳6か月児については目標値を達成した。引き続き目標値の達成に向けて取り組んでいく。</p> <p>さらに、生活習慣の改善とフッ化物配合歯磨剤の使用の普及啓発に努めることで、3歳児のむし歯のない子の割合が増加し、目標値を達成することができた。</p>
	2歳児歯科健康診 査受診率	80%	77.7%	80%		
	2歳6か月児歯科 健康診査受診率	25.9%	32.6%	30%		
	3歳児歯科健康診 査受診率	89.5%	88.5%	90%以上		
	3歳児のむし歯の ない子の割合	82%	85.9%	85%		
基本施策	2 健康相談の充実と育児不安の解消					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 2 - 4 妊産婦訪問指導、産 後相談	産婦訪問指導実 施率	86.9%	91.7%	90%以上	<p>- 2 - 4 「妊産婦訪問指導、産後相談」</p> <p>母子健康手帳への勧奨チラシの折り込み、出生通知票を提出していない方への勧奨強化など様々な取り組みにより目標を達成した。</p> <p>なお、妊娠期からの支援を強化するため、平成23年8月から妊娠届に「妊婦さんサポートアンケート」を組み入れた。</p>	<p>産後の心の問題や子育ての不安等に早期から支援するために、「産婦訪問指導」および「こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）」の実施率の維持に努めるとともに訪問指導の質の向上に取り組んでいく。</p> <p>また、妊娠期からの支援を強化するため、妊娠届に組み入れたアンケートの内容とその後の支援状況を検証していく。</p>
- 2 - 5 こんにちは赤ちゃん 事業（乳児家庭全戸 訪問事業）	新生児等訪問実 施率	(低体重児) 49.0% (新生児) 86.5%	93.0%	90%以上		



基本施策	3 予防接種の推進					
【計画事業なし】						
基本施策	4 小児(救急)医療・周産期医療の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 4 - 6 病床確保事業	新病院の整備 既存病院の増 築・増床	練馬区病床確保・医療 機能拡充検討委員会に おいて、新病院の整備 および既存病院の増 築・増床についての具 体的方策と区内の小児 医療・周産期医療等の 機能の拡充について の、具体策をまとめ る。 練馬区の一般・療養 病床数 1,912床	病床の確保、医療連携 体制の構築や医療と介 護・保健との連携な ど、地域医療の充実に 向けた取り組みの基本 となる「練馬区地域医 療計画」の策定を進 め、小児医療や周産期 医療の充実についても 検討を行った。 練馬区の一般・療養 病床数 1,909床	新病院の整備着手 (500床程度確保) 既存病院増床(200 床程度確保) 小児医療・周産期医療 の充実 練馬区の一般・療養 病床数 2,612床	- 4 - 6「病床確保事業」 周産期医療の充実を図るため、平成22年4月 より、日本大学医学部附属練馬光が丘病院に、 「周産期セミオープンシステム事業」を委託し 実施した。  周産期セミオープンシステム 出産を取り扱う病院と地域の診療所・助産所 が連携し、妊娠32週頃までの妊婦健診を診療 所・助産所で受診し、以降は病院で受診する。 分娩時は病院に入院し、病院の医師が分娩を扱 う。	分娩できる医療機関の増加が難しい状 況の中、周産期セミオープンシステムを 委託することによって、医療機能に応じ た役割分担を図っていく。 平成23年度までは、日本大学医学部 附属練馬光が丘病院に委託していたが、 同病院の運営が終了したことから、平成 24年度より練馬光が丘病院に委託し、 事業継続を図るところである。 今後は、条件が整い次第、順天堂大学 にも事業委託し、区内の周産期医療の充 実に取り組んでいく。
基本施策	5 食を通じた子どもの健全育成					
【計画事業なし】						
基本施策	6 思春期における保健対策の充実					
【計画事業なし】						

基本目標		子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します				
基本施策		1 生きる力を育成する学校教育				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 1 - 2 少人数指導方法の充 実	実施学校数	(少人数指導) 小学校56校 中学校20校  (チームティーチ ング) 小学校7校 中学校12校	(少人数指導) 小学校64校 中学校29校  (チームティーチ ング) 小学校9校 中学校10校	65校 34校  7校 11校	◆ - 1 - 2「少人数指導方法の充実」 申請があった学校すべてに学力向上支援講師 を1人は配置できるようにした。	少人数指導方法の充実は、各校とも組 織的な取り組みを展開することにより、 児童・生徒の学習状況を把握した指導を 実践する。児童・生徒の学習状況に応じ たグループ編成や情報交換に基づいたき め細かい指導により、分かる授業を展開 する。小中一貫教育・連携教育研究グ ループを10グループ・22校指定し、年 5回のグループ研究担当者連絡会を実施 し、11月27日には小中一貫教育フォー ラムを開催する。 平成23年4月、区内初の施設一体型小 中一貫教育校「大泉桜学園」を開校し た。施設が離れている小中学校における 学習指導上の連携を推進するため、小中 一貫教育の研究グループとして10グ ループ22校を指定した。 平成23年5月～24年1月にかけて「小 中一貫・連携教育推進検討会」を開催 し、答申を受けて「練馬区小中一貫教育 推進方策」を策定した。 (仮称)学校教育支援センターの開設 に向けて、関係各課との協議を進める。
- 1 - 10 教育相談	か所数	3か所	調査・研究	4か所	◆ - 1 - 10「教育相談」 後記実施計画の見直しを行った結果、スケ ジュールを調整した。	
- 1 - 15 小中一貫・連携教育 の推進	小中一貫・連携 教育の推進	小中一貫教育校実施計 画(中間報告)の作成	小中一貫教育校(1校 目)の開校	小中一貫教育校開校 小中一貫・連携教育の 推進 小中一貫教育校(2校 目)の検討	◆ - 1 - 15「小中一貫・連携教育の推進」 小中一貫教育校「大泉桜学園」開校 10組22校の研究グループで小中一貫教育の取 組を推進 「練馬区小中一貫教育推進方策」策定	
- 1 - 16 特別支援学級の設置	実施校数	知的障害学級 小学校 10校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学 級 小学校 7校 中学校 2校	知的障害学級 小学校 13校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学 級 小学校 8校 中学校 3校	16校 8校  8校 4校	◆ - 1 - 16「特別支援学級の設置」 情緒障害等通級指導学級 開級2校 豊玉南小学校・八坂中学校	
- 1 - 17 (仮称)学校教育支 援センターの整備	整備・運営	整備方針の策定	実施設計	整備・運営	◆ - 1 - 17「(仮称)学校教育支援センターの整 備」 平成26年度の開設に向けて設計を行った。	

基本施策		1 生きる力を育成する学校教育				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 1 - 18 校舎等の耐震化の推進	耐震化率	81.80%	97.20%	100%	- 1 - 18 「校舎等の耐震化の促進」 補強工事 小学校11校 中学校10校	校舎等の耐震化率は、今後改築予定校を除き100%となる。緑化工事についても、順次実施校を増やしていく。区立学校・区立幼稚園の適正配置については、「第一次実施計画」(平成20年2月)において、平成22年度から26年度までを第二次実施計画期間としていたが、国の学級編制基準に関する検討を見極める必要がでてきたため、幼稚園の適正配置検討を先行させ、平成24年3月に「区立幼稚園適正配置実施計画」を策定した。
- 1 - 19 みどりと環境の学校づくりの推進	緑化工事実施校	校庭芝生化 28校 屋上緑化 9校 みどりのカーテン等 48校	校庭芝生化 32校 屋上緑化 10校 みどりのカーテン等 52校	校庭の芝生化 63校 屋上緑化 14校 みどりのカーテン等 73校	- 1 - 19 「みどりと環境の学校づくりの推進」 ・校庭芝生化 豊玉南小、北原小 ・みどりのカーテン 田柄小、北原小 ただし、みどりのカーテン等の実施校数は延べ数であり、廃校(3校)および複数設置(4校)を含む。	
- 1 - 20 区立学校・区立幼稚園の適正配置	統合新校の開校  「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	4統合準備会の運営	統合新校の開校4校  区立学校の適正配置の検討 「区立幼稚園適正配置実施計画」の策定	統合新校の開校 4校  「第二次実施計画」の策定 「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進	- 1 - 20 「区立学校・区立幼稚園の適正配置」 「区立幼稚園適正配置実施計画」の策定	
基本施策		2 家庭教育への支援の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 2 - 2 子育て学習講座	講座数	子育て学習講座 83講座  親育ち講座 1講座	子育て学習講座 56講座  親育ち講座 20講座	75講座  5講座	- 2 - 2 「子育て学習講座」 平成22年度より、親育ち講座を「ねりマイクメン講座」として、実施団体を募集した。父親や父子対象の講座を地域の団体が実施しやすいように改善した。 区内公共施設等で76回の講座が実施され、2,138人の参加があった。	平成22年度より、父親や父親と子どもを対象とした「ねりマイクメン講座」を開設し、更に家庭教育への支援を強化している。今後も、効果的な事業とするため、見直しをしながら進めている

基本施策	3 地域の教育力の向上					
	【計画事業なし】					
基本施策	4 幼児教育の充実					
	【計画事業なし】					
基本目標	子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます					
基本施策	1 居住環境の整備と子育てバリアフリーのまちづくり					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 1 - 4 鉄道駅および駅周辺のユニバーサルデザインの促進	駅数	18駅	21駅	21駅 さらなるバリアフリー施設の充実	◆ - 1 - 4 「鉄道駅および駅周辺のユニバーサルデザインの促進」 平成23年8月に氷川台駅のエレベーター工事が完了し、21駅すべてにバリアフリー化されたルートができた。	平成23年度で21駅すべてにバリアフリー化されたルートが1ルート確保されたが、今後も各駅や駅周辺の状況に配慮しながら、さらなるバリアフリー化をめざして行く。 歩道のバリアフリー化および公園へのだれでもトイレの設置については、新たに策定された「練馬区福祉のまちづくり総合計画」の推進も図りながら、子どもと子育て中の方などを含め、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの一環として取組を進める。
- 1 - 5 歩道のバリアフリー化	か所数	歩行者横断部改良工事 箇所184か所  電線類地中化事業 5か所	歩行者横断部改良工事 箇所221か所  電線類地中化事業 6か所	284か所  12か所	- 1 - 6 「歩道のバリアフリー化」 交差点部歩道のバリアフリー改良工事により、16か所整備した。	
- 1 - 6 公園へのだれでもトイレの設置	か所数	25か所	30か所	35か所	- 1 - 6 「公園へのだれでもトイレの設置」 高松大門公園 中村かしわ公園	

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 2 - 2 自転車運転免許制度	「自転車安全運転カード」年間発行数	4,734枚	5,017人 平成17～23年度までの 延べ交付人数 28,425人	6,000枚	- 2 - 2 「自転車運転免許制度」 区立小学校57校、5,017人に、自転車の安全な乗り方の講習を行い、「自転車安全運転カード」を発行した。	「自転車運転免許制度」は、区が平成19年度から交通安全対策調査員を配置する等行った結果、実施数は増加してきている。今後も引き続き、未実施校への周知と理解を求め、より多くの児童への実施を目標とする。
- 2 - 6 地域パトロール体制の充実	パトロールの実施  パトロールカーの年間貸出数  パトロール用品支給団体数  パトロール協定団体数	24時間巡回パトロール 小学校周辺パトロール 夜間巡回パトロール  463回  279団体  8団体	24時間巡回パトロール 小学校周辺パトロール 夜間巡回パトロール  411回  276団体  9団体	24時間巡回パトロール 小学校周辺パトロール 夜間巡回パトロール  600回  400団体  12団体	- 2 - 6 「地域パトロール体制の充実」 地域パトロールについては、「安全・安心パトロールカー」7台体制で実施している。365日24時間「安全・安心パトロールカー」を運行している。特に昼間の時間帯は、全小学校への立ち寄りを、4台で1日1回実施している。 PTAや青少年育成地区委員会などが、地域パトロールを行う際に、「安全・安心パトロールカー」の貸出を行っている。 防犯防火に関わるパトロール活動を実施するために登録した団体に対し、ジャンパー・誘導電灯などのパトロール用品の支給や保険加入などを行っている。 郵便局や宅配便、新聞販売店などの業務で区内をまわる各種団体とパトロール協定を結び、区が作成したパトロールプレートをつけて巡回してもらっている。	

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 2 - 11 児童・生徒の地域における緊急避難所の設置	設置学校数	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番とこども110番(カンガルー110番)の併用) 6校 こども110番(カンガルー110番) 6校 (独自の表示板) 1校	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番とこども110番(カンガルー110番)の併用) 8校 (ひまわり110番と独自の表示板) 1校	65校	◆ - 2 - 11「児童・生徒の地域における緊急避難所の設置」 全小学校65校の設置を継続している。 平成23年度末で緊急避難所として5,380件を登録している。	児童・生徒の地域における緊急避難所の設置を進めており、各PTAオリジナルの図柄の表示板が使用されてきたことから、区では「ひまわり110番」の表示板を統一図柄として実施団体に対し、無償配布している。また、平成18年4月から原則として、全ての区立施設等を緊急避難所に指定している。 子ども安全学習講座は、効果的な事業とするため見直しをしながら進めている。今後も、講演会や講座の定着を図るなど、更に家庭での安全教育への理解を進めていく。
- 2 - 15 子ども安全学習講座	講座数	8講座	4講座	15講座	- 2 - 15「子ども安全学習講座」 応募団体数が年々減少傾向にあり、募集を行ったが、応募団体が少なかった。 区内公共施設等で4回の講座が実施され、67人の参加があった。	
- 2 - 16 地域防犯防火連携組織の確立	設置地区数	7地区	10地区	65地区	- 2 - 16「地域防犯防火連携組織の確立」 おおむね小学校の学区を単位に地域住民団体や学校・区立施設などが連携して自主的に防犯・防火活動を行うことが出来る組織の設置について働きかけを行うとともに、当該組織が構築された場合、当該組織の運営費の一部について助成している。平成23年度末現在、10地区において設置されている。	

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 2 - 17 情報教育推進事業	講演会・講座数	情報教育講演会 5回	情報教育講演会 1回  情報教育家庭NIE 1講座  情報教育中学生のための 番組制作 1講座	情報教育講演会 2回  情報教育家庭NIE 1講座  情報教育中学生のための 番組制作 1講座	- 2 - 17「情報教育推進事業」 子どもにとって有害な情報の実際と対策につ いて学ぶ講演会を区内全小中学校で実施する事 業と連動させて実施し、40人の参加があった。 平成22年度より、情報を発信する側に立った 中学生のためのニュース番組制作講座を実施 し、延118人の参加があった。また、新聞を活 用した講座を2回実施し、延85人の参加があっ た。	情報機器や情報通信ネットワークが普及 していく中で、情報を収集し正しく判断 する能力や、自ら情報を発信していく能 力を育成していく事を目的に事業を実施 した。 今後も、参加者の要望を踏まえ効果的 な事業とするため、見直しをしながら進 めていく。

基本目標	特に援助が必要な子どもと子育て家庭を応援します					
基本施策	1 児童虐待防止対策の充実					
	【計画事業なし】					
基本施策	2 ひとり親家庭の自立の支援					
	【計画事業なし】					
基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 3 - 5 特別支援教育に関わる教員の専門性の向上	研修会開催数	特別支援教育理解のための研修会 年間4回  特別支援教育コーディネーター養成研修会 年間6回	特別支援教育研修会 年間3回  特別支援教育コーディネーター・研修会 年間4回  学校生活支援員研修会 年間2回	特別支援教育理解のための研修会 年間4回  特別支援教育コーディネーター養成研修会 年間6回  研修を充実させ、特別支援学級および通常の学級における特別支援教育の一層の充実を図る。	◆ - 3 - 5「特別支援教育に関わる教員の専門性の向上」 エリアネットワークのセンター校である都立石神井特別支援学校共催の研修会を行い、連携の強化を図った。 巡回相談員や専門家チームの活用を通して、教員の特別支援教育の理解が深まった。 平成23年度はアセスメント、指導および支援の手だて、外部機関との連携を中心に研修を計画し、教員および学校生活支援員の専門性の向上を図ることができた。	通常学級における特別支援教育についての理解が深まっている。コーディネーター同士の情報交換の場を設定することで各校の取組がそれぞれの学校で生かされている。巡回相談員との連携を事例に取り上げ、関係機関との連携について理解を深められた。心理検査の読み取りを学ぶことで、指導に生かすことができた。 今後は、研修の質を高めながら、内容の精選等を図っていくことで特別支援教育に関わる教員等の専門性がより向上する研修会を開催する。 各事業とも目標達成に向けて計画通り進んでいる。
- 3 - 11 心身障害者(児)に対する住宅改造・改善の助成	給付件数	障害児における住宅設備改善費 50件	障害児(者)における住宅設備改善 54件	50件/年	◆ - 3 - 11「心身障害者(児)に対する住宅改造・改善の助成」 ・小規模改修 17件 ・中規模改修 17件 ・昇降機 2件 ・屋内移動 18件	



基本施策		3 障害児の健全な発達の支援				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成23年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成23年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
- 3 - 12 心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実	利用時間・日数	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 548,681時間  短期入所 利用日数9,340日  児童ディサービス 7,160日	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 589,551時間  短期入所 利用日数15,184日  児童ディサービス 38,242日	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 750,000時間  短期入所 15,000日  児童ディサービス 10,000日	◆ - 3 - 12「心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実」  居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 10,032人  短期入所 1,536人  児童デイ 6,647人	各事業とも目標達成に向けて計画通り進んでいる。
- 3 - 13 日常生活を容易にするための各種援助	貸付・貸与件数	障害児における日常生活用具貸付・貸付件数 8,836件	障害児における日常生活用具貸付・貸付件数 11,408件	障害児における日常生活用具貸付・貸付件数 13,000件	- 3 - 13「日常生活を容易にするための各種援助」 (給付の多い種目) ・ストマ装具 9,650件 ストマ 腹部に増設された「人口肛門」や「人口膀胱」のこと。排泄された便や尿をためる袋をストマ装具として支給している。	
- 3 - 18 (仮称)こども発達支援センターの整備	開設	基本計画策定	実施設計完了	開設	- 3 - 18「(仮称)こども発達支援センターの整備」 平成24年度工事、開設に向け、実施設計を完了した。	
基本目標	計画の着実な推進を図ります					
基本施策	1 計画を推進する仕組みづくり					
【計画事業なし】						